

一日だけメーデーなし。休日でもない。
メーデーはこの間の晩やって来たっけ。

聞け万国の労働者、

轟き渡るメーデーの、

二日、三日、代休で編み物する。

久し振りで勤務也。

退けて田中屋でビスケット買い都電にて家へ行く。ひろ子のパンツ可愛いく出来たが少しずんどうだ、し長さがわからないので編棒つけた儘家へ行く。

姉の家へ母と行くと、ひろ子はおとなしくしてた。ハシカに肺炎、矢張り姉はどこか冷たい。

ひろ子と敏ちゃんとさわぐだけ。母は歸り海老原さんところに姉から頼まれた編物持って寄る。

歸ると保ちゃん、歸って居た。田舎え法事で歸った兄嫁のお土産は法事のお菓子に水引がかゝってゐた。一口食べたらいやになった。

母が持って歸れという。

5月4日 金曜日

大掃除手傳う事になった。母が電話して父も保ちゃんも休み。

八端（*はったん_{絹織物の名称}）の風呂敷を三角にかぶり煤拂先する。

私もやっと母から洗濯をたのまれるようになった。

ずる分信用がなかったわけ

畳を出して今日は好い天気なり、晝は盛そば、私はかけて笑われる、愉快だった。

下駄で上に椅子に掛けスフ織りの白布をといて母の大きな前掛二枚縫い上げる。

四時丁度終って畳を入れ、拭きさっぱりする。

夕食は母がおごってお晩酌と行く。久し振りで楽しい晩さん、おかげで御飯をお代りするのは私だけ。

母と出来上ったひろ子のパンツを持って姉のところへ、義兄さんも居た。三人で大きわぎ。十時おそくなったので又泊ってう。

5月5日 土曜日

5月6日 日曜日

朝歸り、忙しい。法事のお菓子を食べ乍ら歩く。
今日は勤務なり。横山さんと。
七日から日勤、早く退け毎日服を縫う。伊藤さんのくけ台借りて
横山氏おそく面会し、とても不愉快だった。

代休なので午前中半休の岩渕さんと松坂屋え

明日の支度、買いに行ったが、細かい物 釦 指(*指貫?)等買ったたら幾らも残らず大島
え行くとするど八日に貰ったのは全部変つて了う。どうしようかと迷うが矢張り行つてみ
たい。出来上った服は袖口がまだ残つてゐる。どうせ着て行かない事にしたから今夜は早
く寝ましょう。入浴結局十一時になつて了つた。

朝、広セさんの悲愴な顔、昨夕根岸さんの処置で失敗して了つた。伏針、さあ大変な事になつた。今日は小池さんも休暇で居ず、シヨックは大勢だし、午前中ポータブル撮影、総婦長も来て、午後はいよいよ透視して切開となる。三時半よりタンカで運び、相原先生、院長とヒンちゃん達で始める。仲々困難。患者は神経科だし、酒井さんもお骨折、二時間かゝる。

五時半迄みてホツとして退ける。

二時間おくれ、急ぎ敬愛寮に行き、矢つ張り新しい服を着て行きたくなり出針しておそい
出発、トラ(*ドイツ語のメンストラツイオンの略か「生理」で心配だが岩渕さんにはげまされ、
伊藤さんも気まぐれで今日になつて行くと云い出した。私は火讀ぢやないけど一病のやかに
水をに入れて持参。

省線の中で何だか気持が悪くなり心配だったが、東海汽船迄歩いて行く間は伊藤さんが話
しかけても好い返事出来ず、とても口を聞くのがいやだった。

午後十時出ばん、だんだん冷たくなる風、ゆれてくる、上甲板に出て多田さんと二人、岩
渕さんも引っぱつて来て夜の海をながめる。

月島の火がみえなくなる迄居ようと思つたが二時間経つてもみえなくならないので遂にあ
きらめて下に降り、平野先生達とトランプなどするが、明方近くなるとみんな枕を並べて
討死して了つた。

小堀さんと時さんの酔拂い。

5月11日 金曜日

うっすらと有明の雲のたなびく元村港。

浅黄色に明け初めし大島の空は一すぢの金色の光に島の燈台も、山の頂きの樹木もいきいきと輝いて見える。

そのゆるやかな波の上にも、いや深い水底の方迄つらぬいて紺青のうねりが私達の胸をおどらせる。

上陸。自称奈良先生の別荘を見せびらかされて我々は又歩いて、青木先生久保田先生を先頭に小学校の先生よろしく、途中愉快な渡り台詞あって豊島園に着き、お弁当をひろげる。お腹が空いて二食分平げ、夏みかん、やくわんの水飲み、しゃしん屋が金原先生の夏みかんと頬ばるところをとってゐるのが面白かった。

トラなので山登りは断然止めるつもりだったが、皆にうながされて遂に登る決心をして大汗をかく覚悟する。一合目、二合目、三合目ではもうすでにブラウスは汗になり顔は湯気 of 道鏡、やくわんの水をこぼし乍ら行ったら平野先生に笑はれて了った。とうとう持たせて了った。

平野先生は皆のを持ち、遅れがちになる私達をばげまし、悠々と登って行く。少しも疲れの様子は見えない。少しやせてはゐるがたのしい。

やっと登り着いた御神火茶屋、一寸待て、迄行かなかった。もう午后のようだがまだ十時とか。吉田さんが面白い。牛乳がたんと賣ってたが一本も飲まなかつた。これから登りになる。

パリッとした背広の升村さんに会ったが姿勢が悪い。ところで私のかっこうもあんまり見られたものぢやない。

(大島三原山頂上御神火茶屋の記念スタンプ)

下りはらくで又笑いさざめき、話し乍ら、三原山を眺め乍ら、暁の脱走ロケを想像し乍らかけるように早い。私は前の方でばかに早く降りたい。途中で休んでもお土産は買はなかつた。どうも三百円では心細い。

観光ホテルに寄らず十時半〜十二時半岡田港に降り、土産ものなど買いに歩く。一人になって了った。救護班の人の冷たい事。青木さんとヒンちゃんの元気な事。

色々考えてやっと三百円で十円残つた。お土産券は油(*椿油?)だった。

午後二時出ばン、器量自慢らしいアン子が見送りに来た。暫く甲板に出てる。大島よアン子よさよーなら。

寝る事にして逸早く横になる。水野さん多田さんは好かつた。

お腹が空いてやたらに食べ二人のお弁当のおむすび迄貫って食べた。

月島に近づくと三人で甲板の手すりに倚って色んな歌を唄い乍ら楽しかつた。ごんごんごんごん船着場に近附くと止まって、日本冷蔵

あら、嬉しい何て云ってやろう、浜離宮の港に横附けになった。まだ明るい。

歩き始めて七時半、築地から錦糸堀の都電で行くので皆と別れる。歌舞伎座よ、なつかしい東劇よ又いつか会いましょう。ボサーッとして水天宮行に乗って了った。十円なり。泣き乍ら家迄歩く。明治座のネオンを横眼でにらみ乍ら。

りんご一つかぢって了った。家に着いてホッとす。

笑われて了った。残念だが羊かんは見せただけ、食べさせない。

昨夕は一度も起きず鼻をかいて寝てみたとか。

恥かしくなった。保ちゃんは今早く外出。9時迄寝て了った。玉子を落したおいしい味噌汁。母の作るものは皆おいしい。上手だな家のママは。

朝食終れば十一時半、晝頃姉のここえ行く母と家を出る。ひろ子と敏ちゃんのセーターは良く出来上って感心した。

父に内緒で百円貰い母に百円、父に五十円、あゝ、すまない。こんな事ならお金借りてもお土産もつと買ってくれば良かった。

日本橋で白木屋に入っても大したものなし。

相変らずブスリしたので化粧品賣場でつかまってしまった。つまらなく歸院。

二時より明治座中継、海老蔵の河内山、松緑の直侍、洗濯し乍ら聞く。準夜なり。

日比野さんに深夜と替ってくれとさんざんねばられた。

5月14日 月曜日

昨夕クリップした頭で大島から歸って洗ってないんだけど、晝より午后迄の短時間に行つて来て了う。相変らず庭は美しい草花で一ぱい。伝書鳩が二羽かはいらしい。いかにも青々とした感じの正良くん、ハッキリ屋の道江さん。少し煙った小父さん、横顔は美しい完成された美だ、上品な白髪の小母さん。

お花を少し貰って歸る。桜井さんに上げて了った。

5月15日(火)

お花、佐々木さんに居て貰って活けに行った。

朝起きて洗髪、昨夕は佐々木さんと寝て寝云を云ったとか。

いつもおそい日比野さんに十時に来て貰って引きつぎ。青木さんという安部さんの知ってる手のつけられないような人が入院した。

敬愛寮へ歸り、(小野さんと)クリップして寝る。

5月16日 水曜日

朝寝坊してしまった。お掃除しない。
 ゆっくり、御飯を炊いて食べお化粧して外出。
 沼館さんのお弁当、今日は望遠鏡ないので二十円のオペラグラス借りる。平日なのでらくに席とれて久し振りに歌舞伎の醍醐味に酔う。
 若さのあふれた海老蔵の河内山、玄関先。
 吉右衛門とは又別な良い味なり。
 彼のさつま富士、梅幸のその女房、かさね、松緑の狐忠信は忘れがたい印象に残った。
 いつになっても思い出しては又味をかみしめてみる。

平原さんと会う。

生亀先生当直、平野先生も。一寸話す。

5月18日(金)

日勤、あゝ眠かった。后藤さんと二人張り切る。

大変な予想もしない事が起きた。藪崎氏外科に廻して院長オペ、

それより午後からてんやわんやとなる。

三時頃より五時半迄、リングル、輸血で大変だ。ステリそうだ。一回も食事に行かず腹ペコで配膳室で食事する。時に八時半。

9時退けて当直室、沼館さん達間もなく歸って来た。演劇界ざっと目を通し消灯になって敬愛寮に帰る。ゆっくり寝る。

入浴したいが疲れて眠くて止めた。

皇太后陛下おかくれ遊ばされる。

5月19日 土曜日

シャンプー 齒磨、刷子、髪油、クリーム、白カタン糸、スリッパ

松坂屋

浴衣地、白生地、母、父、花林糖、岩瀬、広セ、下駄

今日は大掃除だと決めてみたら出来ないで拍子抜けした。掃除もせず晝過迄ゆっくり寝る。ラヂオを聞き乍ら。

こういう時中継があればいゝのに。朝からバタバタと大掃除の音。家はまだまだ、今度の日曜は日勤だし困ったな。

三時頃より起き出し一番しまいの入浴。

洗濯、小雨になりかけたが又晴れて来た。

食器で一杯御飯を食べた。ホッケの天ぶらはまづかった。お醤油がほしいばかりに。

さつまが食べたくて仕様がな。又伊藤さんのふところがつて一月半の日記の整理の續きをして疲れて了った。今夜はクリップして寝ましょう。今夜は面白かった

5月20日 日曜日

幾日振りの便りでしょう。俄かになつかしさがあふれ会いたくなくなりました。電話でもかけようか、二言、三言、なんてあっさりしてんでしよう。

5、23 水

楽しみにしてゐた給料日も、とらぬ狸の皮算用、越中何とか（*越中種）向うから外れるでがっかりしてしまった。
意気消沈、共済の600⁰を300⁰にしてやれ。
とうとう三千円借用、1200⁰がとこ手に入った。これでやれやれ、目がねを持って新宿え出かける。

五時からではおそいかな、浜離宮へ行かれず残念、しゃくやくが美しかった。明日は代休。

5月24日 木曜日

代休なり。のんびり起きて目がねを持って、十時に間に合うように、木挽町え出かける。毎朝事務所の掃除で朝刊をみるけど来月の前賣は出てない。仕方がないから今日出掛ける。全く偶然かは知らないけど今日の代休はありがたい。

沓手鳥孤城落月と、口上、三津五郎の踊りをみる。上の方は平日でもあるしガラ空きなり。

友右衛門休演が淋しく腹が立つやら気の毒やら。橘屋に。

築地く錦糸堀、兄の店は閉ってゐた。

家え行くと母は寝てゐる、ハツとした。

肝臓が悪いとの事、手にした目がねとすぢ書の包みがバツが悪い。又母のぐちを聞く。何と云ってよいか、こういう事になると無口になって了う私。

でも母は気をかえて色々私の事を心配してくれる

来月になるより三十日にして了おう。

洗濯物を二、三持って朝歸り。

5、25、

十一時からのオフにして貰って寄宿で洗濯し、敬愛寮に歸って干す。

休みが明けて出て来ると朝七時頃、桜井氏、ステる。こういう事に出会う度にはかない気持になる。まるで尼にでもなつて了いたいような気がする。

藪崎氏案外元気で喜ばしい。

大掃除、早起し畳上げる。面白い、岩渕さん磯野さん岡野さん。八時過ぎ、岩渕さん今日から休暇らしい。
髪はバツサリ、スーツに下駄履で銀座プレイガイドえ、早く買えた。希望と不安に胸とどろかせつゝ何枚も。まだ九時なのでそうだ、まゝよ此の儘王子迄乗って行ってさう。それこそ気軽に話して来る。
十一時〜三時迄、山崎先生と一緒にになった。二時に退けて飛んで帰りもう終るばかりの大掃除手伝う。九室の人に苦情を云はれて困ってさう。横山さん達どしたんだろう。
家へ行く。夜おそく私を買って来て父の顔色をみいみい保ちゃんに骨折らせ母に心配させてやっとなつける。ホッとす。
折角あけたくわん話もその儘風呂に行つて了った保ちゃん。私の行為をどう思つてるのかしら。

5月27日 日曜日

来週休暇だというのに、又母が病気だというのに今日日勤とは、辛いね。
医局旅行で総婦長巻かえ
広セさんに二時に出て貰つて、（彼女あまり二つ返事だったので嬉しいやらうす気味悪いやら）
単身三越え行く。浴衣地でも見たくなって。
私は調子づいたかな。
さんざんみて迷つてやっとなつて決める。私はみえつぱりなところが少々あるらしい。
マッチを二つかせぐ。（まるで万引みたいな言い方）
硫酸と生活展、頭がうるさくなるので途中でやめた。
お土産と来る日の用に菓子を見るが思わしいのなし、もう此の間（土）で安物買の銭失いでこりてるから慎重に選ばなくては。だけど逆井さんの言う如く花林糖は駄菓子である。
最中がよからう。

5月29日 火曜日

今日から三日間休みだけど考えるとあわたゞしい。
まるで家から通勤してるみたい。母の病気の注射も出来ないのが残念だ。
松坂屋で最中と上品な瓦煎餅を買う。
こういう時は平常の無駄遣いと違って、あゝ百円あれば明治座、××の三階なんてバカな事も考えないから不思議だ。火曜日に来ると云つたのに母は洗濯して了つてみた。話をいろいろ聞けば何て気のきかないグウタラな嫁なんだろう。
父の気持、母の気持を察するととても自分が不甲斐なく思えてくる。夕方父が歸って直ぐ三人で鍵しめて円湯え、フラフラと母と一緒に入つて了い、母が背中アンマ膏で痛いからと流させないので折角入つてもつまらない。父母に停留場で見送られる。
電車の中で好い気持になり飛鳥山まで連れて来られて了つた。アハハ

5月31日 木曜日

のんびりなような心急くような、八時に出る。

ホームに待って、気のきかない我乍ら。

服のダラリの袖が気になって仕様がない。

四人混んだ電車にゆられて九時一寸過ぎ着く。途中も胸が少しはトキメク筈なのに何でも

ない。あの人はさぞドキドキだろう。

母は初対面には印象がいゝ方ではない。顔色をみいみい心配した。時の経つに従って話が

やわらかくなり猫も馴れ、笑い出したので安心する。正午歸る。

私だけ送って。三人で寿司の残りをパクつく。

母の気軽な顔、父の幾分心配そうに私に聞く顔、此の日がすんでやっと重荷の下りた気持。

母が近所へ行つてキャンデーを買ってくる。

今年初物なり。
グリーンピースの莢に入ったのをむいて、又買って足して母が私の為に甘く煮てくれた。甘過ぎたようだ。おそば、せんべいはうまいな。

矢張り母が起きなければ駄目なのか。

今日は小雨で曇みたい。

小さいもの洗濯して家の中に干す。

今日は父に会はずに歸る。

實際、何の用もなく母の腰を叩き足をもみ、本を讀んでるだけで退屈。だけど家に居ると

二時半の邦楽の時間が聞けるので嬉しい。

何時迄いても同じ、勢い込んで私が縫って上げると云ったが心配要らず、正午母のかうも

りさして家を出る。

丁度昨日の今頃は。

へんななりで高島屋えより浴衣コンクール展をみる。良いのはみんな御約定済み。

一人お部屋で母の豆を平げブラブラしてうちに岩渕さんのお歸り。彼女の嬉しそうな顔

お菓子と同じ。